

祭料ヲ支給セズ

二三

第十二條第二條ノ規定ニ依リ扶助ヲ受ケ又ハ健康保險法ニ依リ療養ノ給付若ハ療養費ノ支

給ヲ受ケル職工療養開始後三年ヲ經過スルモ負傷又ハ疾病治癒セザルトキハ貸金五百四十日分以上ノ打切扶助料ヲ支給シ以後本規則ニ依ル扶助ヲ爲サズ

第十三條 第三條第四條第七條第八條及第十二條ノ規定ニ依ル支給額ハ職工ノ勤続年數平素ノ行狀勤怠及家計ノ狀態等ヲ斟酌シ適宜之ヲ増加スルコトアルベシ

第十四條 扶助料及葬祭料算出ノ標準トスベキ貸金ハ左ノ各號ノ金額トス

一、職工健康保險法ニ依ル被保險者タル場合ニ於テハ同法ニ基キ其ノ者ニ付定メタル標準報酬ノ日額

二、職工健康保險法ニ依ル被保險者タラザル場合ニ於テハ疾病ニ在リテハ診斷ニ據ル發病ノ日ヲ除キ、發病ノ日明ナラザルトキハ診斷前七日ヲ除キ負傷又ハ即死ニアリテハ事故發生ノ日ヲ除キ其ノ前(貸金締切日アル場合ニ於テハ直前ノ貸金締切日以前)三月間(雇入後三月ニ滿チザルトキハ其ノ期間)ニ於ケル貸金總額ヲ其ノ期間ノ日數ヲ以テ除シタル金額 但シ其ノ金額ハ上記貸金總額ヲ該期間中ニ於テ貸金ヲ受ケタル日數ヲ以テ除シタル金額ノ百分ノ六十以上トス

前項第二號ニ規定スル期間中ニ左ノ各號ノ一ニ該當スル期間アルトキハ其ノ日數及其ノ期間ニ於ケル貸金ハ前項ノ期間及貸金總額ヨリ之ヲ控除ス

一、業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リ療養ノ爲休業シタル期間

二、産前又ハ産後ノ女子内務大臣ノ定ムル所ニ依リ休業シタル期間

三、試ノ雇傭期間

四、工業主ノ都合ニ依リ職工ヲ臨時ニ休業シタル期間

第一項第二號ノ貸金總額ニハ内務大臣ノ定ムル左記賞與及手當ハ之ヲ算入セズ

一、三月ヲ超ユル期間毎ニ支給スル賞與

二、發明善行其ノ他特別ノ行爲ニ對スル賞與又ハ手當

前三項ノ規定ニ依リ扶助料及葬祭料算出ノ標準トスベキ貸金ヲ算出スルコトヲ得ザル場合ニ於テハ同種ノ勞務ニ服スル者ノ賃金ノ平均額トス

前四項ノ規定ニ依リ賃金ヲ算出スルコト能ハザルトキハ兵庫縣知事之ヲ定ム

第十五條

左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ本規則ニ依ル扶助ヲ爲サズ

一、職工解雇後一年ヲ經過シテ扶助ヲ請求スルトキ 但シ既ニ受ケタル扶助又ハ健康保險法ニ依ル保險給付ノ原因タル負傷又ハ疾病

二三